

【地域を盛り上げる仲間募集】令和8年度 京丹後市地域おこし協力隊募集！

活動拠点となるのは、自慢できる地域資源が豊富な京都最北端のエリア「宇川地域」。

これからガンガン新しいチャレンジが始まろうとしているこの地域で、いろいろと作戦を画策する仲間たちと、楽しみながら、一緒に地域の未来をつくりましょう！！

京丹後市は、京都府最北端の町として知られ、四季によりいろんな表情を見せる美しい日本海をはじめ、雄大な山々、清らかな川、それら大自然がもたらす景観や豊富な食資源、また源泉が40カ所もある温泉に絹織物の生産量日本一を誇る丹後ちりめん、また近年は長寿のまちとしても注目を集めるなど、全国的にはまだまだ知られていませんが、誇るべき資源がたくさんあるところです。

今回募集する協力隊の活動拠点となるのは、京都府最北端の京丹後市の中でも更に最北端のエリアである「宇川地域」です。京丹後市の中心市街地から車で北へ向かうこと30分ほど、最北端らしくやっぱり海が印象的なエリアです。

ただ、このエリア、自慢は海だけじゃないんです。海を見下ろす立地に位置するロジやキャンプ場など宿泊機能を持った温泉施設「宇川温泉よし野の里」や、ハヤブサが生息することでも知られる「経ヶ岬灯台」、海の幸はもちろん清流：宇川の鮎などの「食資源」、春から初夏にかけて地域を彩る「桜やラベンダー」、見ようによっては見えなくもない「ゴジラ岩」などなど…、誇れる地域資源がとにかく豊富なんです。

しかし豊かな自然が広がる一方、交通インフラや日々の買物面での課題、市街地からの距離感などを要因に、人口減少が進み、高齢化率も年々上がっているという事実もこのエリアを語る上で無視できない一面です。

そしてここからが重要なところですが、この地域、課題を抱えながらも衰退という言葉が相応しくない元気な地域なんです。交通インフラが整っていないなら自分たちで！と「ささえ合い交通(住民がドライバーとなり住民を運ぶ、住民同士がささえ合う公共交通)」を運行していたり、地域唯一のスーパーが撤退した時には他の地元スーパーに働きかけ週一回「移動販売車」が来る仕組みをつくったり、もともとここに暮らす地域住民と自然環境に魅了されここに辿り着いた移住者が協力しながら、地域の暮らしを守り続けています。さらに、これからは地域を活性化するための攻めの取り組みを実行していこうと息巻くメンバーで構成された「うかわコミュニティ」が立ち上がりました。そう、今回募集する地域おこし協力隊の受け入れ先となる地域のコミュニティ組織です。



攻めの一手、例えば…

現段階でもいくつか計画が検討されていたり、妄想が膨らんだりしています。例えば、その中のひとつが「空き家を利活用したお試し住宅計画」。人口減少が進むと「ささえ合い、たすけ合い」がキーワードとなっている地域では、暮らしが成り立たなくなってきました。動ける人に負担が掛かり過ぎてしまうから…

また、人口減少に伴って空き家は確実に増えていきます。この課題を同時に解決するために進んでいるのが、この計画です！地域での暮らしを試してもらって、その体験がその先の移住に繋がることを目論んでいます。ただ、パッと思いつくだけでも「活用できる空き家の調査・交渉は？」「改修は誰が、どの程度やる？」「価格設定は？」「告知はどうする？」「そもそも初期投資はどうやって調達する？」などなど、実行に移すまでに検討すべきことは山ほどありますし、実行段階でも新たな課題や検討事項がどんどん出てくると思います。だからといって、うかわコミュニティの方々は歩みを止めません。きっと、このままでは大変なことになるという危機と移住者が増え賑やかになっていく未来をリアルに想像できているからだと思います。この「ハラハラする危機感」と「ワクワクする未来」をポジティブに捉えられる方に、ぜひ仲間に加わってもらいたいと思います。※うかわコミュニティ内の移住促進部会メンバーを中心に推進中！

また、いろいろと新しいことにチャレンジしている地域だけあって地域外からの声を取り入れようという取り組みもしていて、そのひとつが2015年から続く京都市内の大学との連携事業です。毎年大学生が地域を訪れ、地域でのイベントを企画・運営してくれたり、地域を紹介するパンフレットを制作して地域内外に魅力を発信してくれたり、昨年は地域住民を巻き込んだフォトコンテストを実施して人気の高かった写真を集めたカレンダーをつくってくれました。大学生・地域の方々とも交流を楽しみながら地域の活性化に取り組んでいましたが、この事業に参加した学生が卒業後京丹後市に就職（Uターン者だけでなくIターン者も）するなど最高の形での成果も出ています。



トライ＆エラーの繰り返し、その先に！

そんな風に、地域内外の人たちと連携しながら移住促進に取り組んでもらいたいんですが、そもそもここへの移住を検討してもらうためには、大前提として魅力的であり続けることが大切。だから、すでにある資源をより有効活用する活性化計画も進行中です。前段で紹介した通り、ここにはぜひ訪れてほしい場所がたくさんあります。一度来てくれたら決して後悔させないですし、満足してもらえるはずですし、また来たいと思ってもらえるはずだと思います。ですが、まず一度来てもらうためにどうすればいいか…それが大問題です。コツコツやっていくモノとインパクトを出すモノ…さあどうするか？ポジティブな方なら一緒に考えたくなってきましたよね？

宇川を知ってもらう！興味を持ってもらう！移住や観光の候補に入れてもらう！そのために、「できること」「やってみたいこと」いろんなことにチャレンジし、その中で「次につながること」を見極めていきたいと思っています。



遂行いただきたいミッション

◎地域コミュニティ組織「うかわコミュニティ」への参画

まずは、地域おこし協力隊として、地域の一住民として「うかわコミュニティ」のメンバーに加わっていただき、中心的メンバーとして、既存事業の支援や各種新規事業の計画の立案～実行を！その中でも、特に移住促進部会の一員として、空き家活用・移住促進（関係人口拡大）に取り組んでもらいます。

当面は「宇川アクティブライフハウス」を拠点に、地域内ネットワークの構築に取り組んでください！

◎地域内外への情報発信

地域外に向けては、SNS やウェブサイトを通じて宇川の魅力を余すところなく発信を！また地域内に向けては、コミュニティ広報誌や自身が制作する活動報告書の回覧などを通じてここで起こっていることや自身の活動のことを伝えることで住民を巻き込んで！

◎宇川での暮らし満喫

もしかしたら、これが一番大切！自然や食はもちろん、守り継がれてきた地域内行事への参加など、季節ごとに訪れる楽しみや魅力を全身で感じながら地域に溶け込み、地域内での強いネットワークを構築してください。地域内での応援者を増やすことで暮らしも活動もグリーンと楽しくなります。そしてこのネットワークは、今後すべてにつながっていくことになります。

～具体的活動のイメージ～

- うかわコミュニティ会議への出席 ※未来構想や現状事業の把握～新規事業の計画立案・実行
- 地域巡り（仲間探し） ※地域内ネットワークの構築および地域資源の把握
- 情報収集 ※市内外問わず、各種事業の参考になる事例の調査
- 広報活動 ※各種ツールでの情報発信
- 空き家調査 ※所有者さんの意向調査含む
- 収益構造の検討 ※各事業での「稼ぐ」をキーワードとした検討 ⇒ 任期終了後の自身の生業にも！
- 中間支援組織による活動支援への参加（各種研修や交流会など） ※概ね月 1 回程度

こんな人を待っています！

- 常に前向きに物事に取り組める人
- 人と接するのが好きな人
- 自然が好きで田舎暮らしをしてみたい人
- とりあえずやってみるタイプの人
- 人の意見を聞き、自分の意見もはっきり言える人
- 新しいことを企画するのが好きな人

さらに、こんな資格・経験・特技を持っている人、大歓迎！

- 写真や動画制作が得意な人
- HP がつくれる人
- 情報発信（特に SNS などデジタルツールを活用した発信）が得意な人
- DIY が好きな人

1 募集人数 1名

2 募集対象

次の項目をすべて満たす人を対象とします。

- ① 委嘱の日において、年齢が18歳以上の人。性別は問いません。
- ② 現在、3大都市圏又は地方都市をはじめとする都市地域等に居住されており、地域おこし協力隊として委嘱後、住民票を京丹後市に移し定住できる人。
- ③ 任期終了後、京丹後市に定住し、起業・就業しようとする意欲を持つ人。
- ④ 普通自動車免許を有しており、実際に運転ができる人。
- ⑤ パソコン等の一般的な操作及びインターネットやSNSなどを活用できる人。
- ⑥ 地域住民と積極的にコミュニケーションを図り、精力的に行動できる人。
- ⑦ 心身ともに健康で誠実に職務を行うことができる人。
- ⑧ 地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない人。

3 身分等

「京丹後市地域おこし協力隊設置要綱」に基づき、市長が委嘱します。隊員と市は業務委託契約を締結し、隊員は役務の提供に対する謝礼として契約に基づく報酬の支給を受けるものとします。隊員と京丹後市の間に雇用関係は存在しません。

4 委嘱日及び委嘱期間

委嘱日は、令和9年1月を予定していますが、相談に応じます。予定日から活動ができない人の応募も可能です。ただし、遅くとも令和9年3月31日(水)までには着任いただきます。

委嘱期間は1年間ですが、活動状況・実績等を勘案し、最長3年まで延長します。ただし、隊員として相応しくないと判断した場合には、期間中であっても委嘱を取り消すことができるものとします。

5 活動時間及び勤務時間

1日あたり7時間45分、1週あたり4日間を目安に、受け入れ地域の意向を踏まえたうえで、活動内容により、市と協議し調整できるものとします。

6 待遇等

- ア 報酬 月270,000円/月（報酬、各種手当、活動費含む）
- イ 健康保険料及び年金保険料は各自で負担していただきます。市は雇用保険には加入しません。
- ウ 活動期間中の住居は、個人でご準備ください（京丹後市の家賃補助はありません）。
- エ 活動に使用するパソコン類、車両については、個人でご準備ください。
- オ 副業や兼業が可能です。
- カ 転居に伴う費用は、原則、個人負担となります。
- キ 住居の改修や転居に伴う費用について、条件に合えば市の移住支援施策を利用することができます。詳しくは市ホームページをご覧ください。

7 支援体制

京丹後市では、中間支援組織による活動の支援を実施しております。日々の活動から任期終了後の生業づくりまで様々なサポートを受けることができますので、安心して活動していただけます。

※ネットワーク構築のための交流会や各種セミナーなどへも業務の一環として参加していただきます。

8 応募手続

(1) 応募受付期間

11月9日（月）から12月2日（水）まで

(2) 応募方法

京丹後市ホームページから応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、地域コミュニティ・にぎわいづくり課までメールにてご提出ください。なおファイルはPDF形式に変換して添付ください。また、応募用紙と同時に住民票（スキャンデータ）もご提出ください。

※提出書類：応募用紙、住民票 ともにPDF形式にて

(3) 応募条件

応募には、原則11月7日（土）に開催する現地フィールドワークへの参加が必要です。

当日の参加が困難な人は別日での対応を検討いたしますので、事務局までご相談ください。

9 オンライン説明会

10月8日（木）・20日（火）いずれも18時00分から、オンラインによる説明会を開催いたします。参加については、京丹後市ホームページからオンライン説明会参加用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、1回目は10月5日（月）・2回目は10月16日（金）までに地域コミュニティ・にぎわいづくり課までメールにてご提出ください。なおファイルはPDF形式に変換して添付ください。

※当日までに参加URLを共有いたします。

ご都合が悪い人については、可能な限り個別に対応いたしますので、事務局までご相談ください。

10 現地フィールドワーク

日 時：11月7日（土）午前10時から午後4時頃まで（予定）

内 容：現地フィールドワーク及び受入地域との交流

※訪問予定地域：丹後町宇川、久美浜町久美浜一区

備 考：集合場所までの旅費及び昼食代は各自の負担となります。

集合時間・場所は申込者にお知らせします。集合後は、京丹後市公用車にて現地を巡ります。

参加方法：京丹後市ホームページから現地フィールドワーク参加用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、地域コミュニティ・にぎわいづくり課までメールにてご提出ください。

なおファイルはPDF形式に変換して添付ください。

行程詳細：お申し込みいただいた人に別途お知らせします。

申込〆切：10月30日（金）

ご都合が悪い人については、可能な限り個別に対応いたしますので、事務局までご相談ください。

1 1 選考

(1) 第1次選考（書類審査）

書類選考を行い、応募者全員に結果を通知します。

(2) 第2次選考（現地面接）

12月15日（火）実施予定、第1次選考の合格者を対象に面接を行います。

会場や時間など詳細は第1次選考の合格者に通知します。

※選考結果は、全員に通知します。

※選考の経過および結果についてのお問い合わせには応じられません。

1 2 事務局（お問い合わせ）

京丹後市役所 市長公室 地域コミュニティ・にぎわいづくり課 担当者：柳、小原

〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889 TEL：0772-69-1050

e-mail：chiikicom@city.kyotango.lg.jp

魅力ある資源に溢れた地域の未来を一緒につくりましょう！

ご応募お待ちしております！！



※一緒にチャレンジいただく「うかわコミュニティ」のみなさん